

総合的な学習の時間

1 ねらい

「よりよく問題を解決する力」を身につけ、「自己の生き方を考えることができるようにする」ことをめざし、「課題設定の力」「課題追究の力」「表現する力」「生活に生かそうとする力」を育てる。

2 テーマ

「世界に発信！ S S P（更科 S D G s プロジェクト）～更科の人・地域に学ぶ～」

3 内容

小規模校の特色を生かした異学年交流のグループ構成で、地域の方と交流を持ちながら活動する。

持続可能な開発のための目標（S D G s）の視点から、更科地域が持続していくための課題を見出し、解決に向けた活動を行う。

テーマ

「世界に発信！ S S P（更科 S D G s プロジェクト）～更科の人・地域に学ぶ～」



総合的な学習の時間全体計画

千葉市立更科中学校

生徒の実態 ・生徒数22名の小規模校である。 ・純朴で何事にも一所懸命に取り組む。 ・困難を乗り越えようとするたくましさに欠ける面がある。	学校教育目標 心豊かに学び合い、たくましく生きる生徒の育成		地域の実態 ・豊かな自然に恵まれ、歴史的史跡も多い。 ・三世同居の家庭が多い。 ・過疎化・高齢化のため、生徒数は減少の一途をたどっている。 ・市街化調整区域に指定され住民の流入はほとんどない。 ・保護者は本校卒業生が多く、学校に対して協力的である。			
	具 体 目 標 <table><tr><td>校 訓</td><td>自 学 礼 儀 勤 労</td><td>意欲的に学習に取り組み、自ら考え、判断できる生徒 思いやりがあり、すすんで挨拶のできる生徒 働く意義を理解し、奉仕の心を備えた生徒</td></tr></table>			校 訓	自 学 礼 儀 勤 労	意欲的に学習に取り組み、自ら考え、判断できる生徒 思いやりがあり、すすんで挨拶のできる生徒 働く意義を理解し、奉仕の心を備えた生徒
	校 訓	自 学 礼 儀 勤 労		意欲的に学習に取り組み、自ら考え、判断できる生徒 思いやりがあり、すすんで挨拶のできる生徒 働く意義を理解し、奉仕の心を備えた生徒		
	研 究 主 題 現在と未来をよりよく生きるための思考力、判断力、表現力、実践力を育てる指導の在り方					

総合的な学習の時間の目標
・自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。 ・学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

総合的な学習の時間で身に付けたい力			
課題設定の力	課題追究の力	表現する力	生活に生かそうとする力
・自分の疑問や関心に基づいて、追究したい課題を見つけ、テーマを設定することができる。	・自らの課題に対して、体験活動や調べ学習をしながら必要な情報を収集し、目的や意図に応じて整理・分析できる。 ・他者の考えを受け入れながら、よりよく判断し、問題の解決や探究活動を協働して行うことができる。	・目的や意図に応じた表現の仕方を考え、課題追究の結果及び自分の考えや意見、発見したことなどを的確にまとめ、表現することができる。	・学習活動を通じて、社会や自然の中に生きる一員として、何を、どのようにすべきかを考えることができる。 ・学習活動を通して自分の考えや意見を深め、学ぶことの意義を自覚し、自己の生き方を考えることができる。

学年の目標	1 学年	2 学年	3 学年
	課題解決に向けて、文献や ICT を活用した調査や体験活動を行い、得た情報をまとめ、多様な表現方法を用いて発表できる。	自ら課題を見つけ、課題解決に向けて情報を収集し、協働的に問題の解決に取り組み、ICT を効果的に利用して発表できる。	課題解決に向けて幅広く情報を収集し、協働的に意見交換をする中で、情報を整理・分析しまとめることができる。学習会や発表会において全体をリードして活動することができる。
学習内容	世界に発信！ SSP（更科SDGsプロジェクト）～更科の人・地域に学ぶ～ 自分たちの暮らす地域の自然・歴史・福祉について体験学習や調べ学習を行い、地域の再発見をする中で、自己の生き方を考える探究的な学習		

指導方法	指導体制	評価計画
・オリエンテーション及び対話によるテーマ設定 ・異学年グループによる探究活動の充実 ・探究時、発表会における ICT の活用	・教師間の連絡、研修会の実施 ・地域ボランティアの充実 ・関係諸機関との連携 ・校外活動時の安全のための保護者連絡	・評価規準の設定 ・ポートフォリオによる個に応じた評価 ・自己評価並びに発表会における自己評価